

## 壊れキャラ時代とその後

<http://d.hatena.ne.jp/rk0520+EX1/>

2013-11-08 - 2013-12-25

2013-11-08

廃墟探索開始

解説 | 12:39

とある廃墟ブログを整理します。

極秘作業ですが公開モードで。

慎重に、くれぐれも慎重に。

2013-11-09

2010年3月の頃

2010年 | 17:28

なにやら楽しそうだ。というよりも浮かれているのではないかと思う。

1. ゴディバのアイスクリーム
2. 場末にあるディープなバー
3. フリーエージェント
4. 書道展
5. フレンチ・ミーティング

なお、フレンチ・ミーティングはハレンチだったようだが世界には特に影響はなかった模様。

2010年2月の頃

2010年 | 17:18

メモは多数発見されたが、どれもこれも自分の好みや自分自身につい

での記述ばかりで面白くない。気になったのは以下の4点のみ。

1. 愛の麻薬 (PEA = フェニール・エチル・アミン)
2. 職業人、市民、個人
3. キャリア・アンカー = (創造、変革、概念)
4. 会話記録 (2010.2.14)

「これって義理チョコやんな？」

「解釈は貰った人の自由やで」

暇そうである。

2010年1月の頃

2010年 | 11:28

廃墟には二つのメモが残されていた

蒐集番号1. 失敗作の扱い方

1. 失敗作は捨てる。壊す。
2. 失敗作を作らない。(某、油絵画家談)  
油絵は上書きが出来ますからね。
3. 成功するまで諦めない。

人生においては、過去を後悔するのではなく、失敗を経験として生かすことが重要。適性がないことには、はやめに見切りをつけること。

## 蒐集番号2．決断の条件

「ゆで蛙」の話は有名なので、ご存じの方が多いだろう。

水の入った鍋にいれられた蛙が弱火で徐々に茹でられて行く。最初は気持ちよくなる。次に、危ないと気がつくのだが、その時には身体が動かなくなっている。そして、最後には死ぬ。

この話の教訓は何だろうか。

それは、「危険を察したら機敏に反応せよ」ということに尽きる。今、多くの40代、50代サラリーマンの70%が老後に不安を感じている。しかし、危機を察していながらも、行動している人、決断する人は少ない。

多くの方が、ゆで蛙の如く、死にはしないまでも貧困に陥るのではなかるうか。「チャンスの女神に後ろ髪は無い」という言葉もある。

決断の条件を整理することは重要だが、条件が整ってからの決断では遅すぎる。

このメモは興味深い。特に、「決断の条件を整理することは重要だが、条件が整ってからの決断では遅すぎる。」というのは非論理的なただの印象ではないだろうか。成功を求めて決断を焦る人。それに、実際の蛙は茹で上がる前に飛び出る。これは間違っただとえ話だ。また、失敗作と成功作の違いは誰が決めるのだろう。決断主義の残骸は悲しいものだった。

2013-11-10

2010年06月の頃

2010年 | 10:39

この月は、3本おエッセイと数件のメモが残されていた。エッセイの

方は特定秘密扱いなので触れることもできないが、以下のメモには言及しておく必要があるだろう。

レジリエンス (resilience = 回復力) 特に心理学、精神科医療で最近よく使われる。この場合のレジリエンスとは精神的回復力だ。

ある研究から、以下の3つがレジリエンスの因子として抽出された。

1. 肯定的な未来志向性
2. 感情の調整
3. 新奇性追求

また、精神的回復力と自尊感情の間には正の相関があるのだと言う。  
(以下略)

レジリエンスが必要だったのは、ほかならぬ主だろう。しかし、ある研究とやらの「新奇性追求」というのは本当だろうか。むしろ「視点を動かす」といったことが重要ではないのか。

特に問題は見られないが、少し苛立ち、焦っていたようだ。

2010年5月の頃

2010年 | 10:29

蒐集番号4 . 人生設計の前に

1. 自分を知ること  
(1) 性格特性

- a . 社交人間：ひとに喜んでもらえると嬉しい
- b . 競争人間：勝つことが最大の喜び
- c . 理解人間：理解することが楽しい
- d . 創造人間：作品を作ることが喜び

( 2 ) 行動特性

- a . アイデア型
- b . 戦略型
- c . 分析型
- d . 実行型

つまり、4 × 4 で、16 通りに分類できます。

2 . キャリア・アンカー

- 1 . 自分に何ができるのか
- 2 . 変わる事のない基本的な志向はなにか
- 3 . 自分にとって価値のあることはなにか

私は創造人間のアイデア型。競争人間の戦略型の人パートナーに欲しいですね。(以下略)

この月のメモは1枚しか発見されなかった。ビジネスをやりたいと考えていること、パートナーがいなことがわかる。主はサラリーマンのようだ。

2010年4月の頃

2010年 | 10:23

蒐集番号 . 3 内科医と患者の会話

今日、かかりつけの内科医は面白いことを言った。  
「人間には2種類あります。一つが、運命に翻弄される人間。もう一つは、運命を切り拓く人間です。貴方は、どちらを選びますか？」  
「言い換えると、私は今まで流されてきたと言うことですね」  
「そうです。それと常に言い訳がそこにある。その思考習慣を変えてもらいたい」  
「そうですね。その点は自覚しています。リセットですか。」  
「そう。リセットです。今日は、よ～く考えてみてください。」  
はて、運命とは何だろうか・・・？  
運命の神は女神である。だから、これを組みしくためには、ときどき、なぐったり、蹴ったりしないといけない。(以下略)

とても医者と患者の会話ではない。ましてや双方とも40歳を超えているのだ。その後、患者はこの内科に二度と行かなかった。

2013-11-11

2010年9月の頃

2010年 | 00:43

記録は何もない。

遂に事件は起こった。

それにしても、重要な時ほど記録がないとは、どういうことか。

あの日、あの時。

完全に通信が不能となった。

2010年8月の頃

2010年 | 00:40

記録が残っていない。

通信が困難になったのだ。

歴史の空白だ。

2010年7月の頃

2010年 | 00:36

価値のあるメモはなかった。

従って放置してきた。

ただ、この時に重要な人物からの要請に応えなかったことから、大きな事件が起こる。怖かったのだ。しかし、自分を捨てても守るべきものに気がつく必要があったのだ。

2013-11-12

上海にて

保管 | 23:16

2010年12月04日(土)

私は今、上海にいるということではない。堀田善衛の「上海にて」を読んでいるのだ。いま、168ページまで。

堀田善衛は、1945年3月から、1946年12月まで上海にいた。いうまでもなく上海で敗戦を経験したのだ。危険な時代を、危険な世界を生きてきた文学者。血と革命。陰謀と裏切り。複雑な戦争。

この本を読むと、今の日本がいかにもどかか(嫌味のつもりだ)がよ



くわかる。いつから、こういう社会になったのか。

この本には、その答があるように思われる。

それは、戦後の流行歌「リンゴの歌」だ。

赤いリンゴに、唇よせて～

堀田善衛は、この歌が流行った「日本」に対して脱力した。

私は思った。「日本人は、いつからポチになったんだろう」スポイルされた国。それが日本なのではなからうか。不気味なのどかさ。

それは高度成長期も今も変わっていないように思う。生涯をゆりかごの中で生きているかのような錯覚。しかし、限界はそこまで来ている。破綻。

そうだな。破綻の典型は私のような人かもしれないな。そして、そういう人が、どんどんと増えるのだろうな。自壊しないように、自戒しよう。なんでも、日本の文学者は、異様に自殺者が多いそうだから。



上海にて (集英社文庫)

作者：堀田善衛

出版社 / メーカー：集英社

発売日：2008/10/17

メディア：文庫

購入：2人 クリック：17回

この商品を含むブログ(17件)を見る

2010年12月の頃

2010年 | 01:03

「進展せず」「空腹体験」「罪悪感」「すべり台社会」「上海にて」「ラスト・メンヘラー」「寿司屋」「記憶と忘却」「美しき裂け目」「溺れる者」「肉体崇拜」「死の予感」「子供の会話から」「あなたが好きです」「病む理由」「新しい思考」「誘惑する哲学」「密かな楽しみ」「オカルト宣言」「三つの心理学」「仮説に証明はいらない」「時には軽い日記を」「時には軽い日記を」「アンラーン (unlearn)」「今のために、過去を捨てる。」「勝てる戦場で戦え!!」「『ムリ・ムダ・ムラ』論」「除夜の鐘」など、1ヶ月に16本のエッセイを書いている。行方不明事件が解決し、やる気が出ていたようだ。ここでは一つだけ紹介しよう。

蒐集番号6・大晦日

いつのまにか、大晦日です。

今日は、日本人なら、日本の伝統文化を大切にするなら、寝てはいけないということをご存知ですか？

大晦日というのは、年神（としかみ：神道の神）を迎えるために、一晚中起きているというのが、日本の古来からの慣わしなのです。今日は、除夜の鐘を聞きながら、年越し蕎麦をいただくのが良いですね。この、年越し蕎麦。元々は、晦日蕎麦と言って、毎月の末日には蕎麦を食べる習慣がありました。それが、大晦日にだけ残って今の形になったようです。年越しヤキソバとか、年越しラーメンは、ちょっ

と・・・。

私は無宗教ですが、伝統文化は大事にしたいと思います。もっとも、それが政治利用されている現状はいただけません。明治以降のことですね。それはさておき、新しい年を迎えられるということに感謝して、これを今年最後の「日日雑記」にしたいと思います。

皆様、良いお年をお迎え下さい。

この月から、あるセミナーが始まっている。活気を感じる。

## 2010年11月の頃

2010年 | 00:50

過眠症。現実逃避。狂気の誘惑。

行方不明事件は解決していない。

いたって冷静。メモからは不思議な精神力が感じられる。

それでも心は乱れている。

極めて高い自己制御能力を感じる。

## 2010年10月の頃

2010年 | 00:44

行方不明事件が発生しているというのに、バブル時代の招待状を思い出している。嗜好に脈絡が無くなっている様子。いろいろな想像を落ちつけようと必死だったのだろうか。

蒐集番号5・美酒と美食の会

「美酒と美食の会」、それはディスタクシオンとしての文化を楽しむといった、世俗的ばグルメではない。

それは、酒食という総合的な知覚の次元の拡がりの中で、ゲシュタルトを揺さぶること、換言すればアートに触れることを目的としたグルメのためのサロンである。(ではない。)

ジーン(遺伝子)とミーム(文化の伝達物質)がディコンストラクションされて行く現場を目撃すること。東京にしながら、東京の外に出るとか、20世紀の中で21世紀に暮らすといったクラインの壺現象が頻繁に発生するトポス(場)を共有すること。ニューロンが飛び跳ね、食卓の上で乱舞し、スープの中で溺死するという事件に遭遇すること。それらを通してグルメは指数的にグルメ化するのだが、それは進化の誘引であるとともに、ゲーム理論の基本であり、分子生物学上のひとつの帰結であることは疑いようのない事実なのだ。

このように、アカデミズムとアートの最先端は、現代の人間に新たな快楽の領域を提供するが、制御行動の遺伝子は、それに対するある程度のストイックをも要求している。これは、会合が頻繁に開かれない一つの理由でもある。

2013-11-13

2011年6月の頃

2011年 | 22:10

メモは残っていない。

フリーでの麻雀で、月間500本以上という記録を作る。

24時間休憩なしなど伝説の人となった。

2011年5月の頃

2011年 | 22:08

メモはない。

豪勢にタクシーで海に日帰り旅行に行った。そこで潮の匂いを感じないなど体調の異変を感じる。

病院に行き検査をするが、たらい回し。もう長くないと思い、やりあいことをやったようだ。

フリーセル1500連勝を2週間で達成。異常だ。いったい一日何時間やっていたのか？

2011年4月の頃

2011年 | 22:05

セミナーやらイベントやらでそこそこ多忙だったようだ。

某プロ養成講座修了。

メモは「ネガティブな感情などない」「2005年の夢」「マズローの逆ピラミッド」のみ。

2011年3月の頃

2011年 | 14:40

起業を予定しているところに東日本大震災があった。計画の見直しを迫られた。カウンセラー系のおかしな人々のコミュニティに引き込まれた。

311以降、茫然としていた。

心理主義の罨にかかったようだ。それも運命。

2011年2月の頃

2011年 | 14:32

男は予約していたタクシーで高速に乗り組織へと向かった。今日は組織とお別れの日。お礼には、数万円の高級チョコレート。これで最後。別れの時の皆の顔はそれぞれに異なる。深々と挨拶する人。涙ぐむ人。

特別応接室で本部長と歓談。いろいろあった。

その後、東京の高級ステーキハウスで家族3人と食事。久しぶりの東京は日帰り旅行だった。

メモはない。エッセイが一つあったが放置した。やがて消えてなくなるだろう。

あほでんねんは本当にあほばかりだった。

2011年1月の頃

2011年 | 00:32

組織を脱退することを告げた月。

しかし、そのことにはまったく触れられていない。

メモは多数あるが、まとめるとこの程度だ。

「捨てる作法」

捨てるか否かの判断基準の明確化。

捨てることで環境が変わる。

環境は人を変える。

環境は自分で作る。

「まっ逆さまの目標」

1. 年収 2000万円以下
2. 労働時間 1500時間以下

「究極の目的、そして方針へ」

コントロールで計画を見直すのはGOODです。しかし、方針を変更するのは大変です。ましてや、究極の目的を変えとなると、致命的なのです。

「幸福度の指標は簡単だ」

1. 自己開示的か？
2. ギブ&テイクがうまくできているか？
3. 自己主張をしているか？
4. 人生一般への興味、関心があるか？
5. 相互依存を楽しんでいるか？
6. 外界は自分に対してフレンドリーか？

「1週間後に提出せよ！！」

「キラキラ、ウダウダ」

「最近の失敗」

「仕事とは」

## 正月

保管 | 00:17

2011年の年賀状



こんな感じでした。

こんな感じでした。

こんな感じでした。

2013-11-14

2011年12月の頃

21:56

メモが残されていない。

あるクリスマスパーティでパニック的気分が落ち込んで、その状態が続いた。原因は不明だ。



2011年11月の頃

2011年 | 21:53

突然、M氏の協力を得てマンションを借りる。事務所として。

メモは以下の9枚。保管するかどうか帯には短く襷には長い。

「欲望の充足か、安心の増大か」「心の治療の常識」「今日一日の充実が基本」「自己肯定・他者肯定」「お手伝い」「考えるとはどういう事か」「トランスポゾン人間」「驚異的な復活力」「良かったねメソッド」

とりあえず「今日一日の充実が基本」だけ持ち帰る。

今日一日の充実が基本

2011年11月06日(日)

生きていること。それ自体に価値があるなどという最近の通説は大嘘だ。

飲んで、食べて。なにも考えずに、ただ働くか、遊ぶか。そんなものは、アリヤキリギリスの生命であって人間のものではない。いや、これは言い過ぎた。それも人生かもしれない。

日々の充実感を目指すこと。  
これが一番の基本である。

もちろん、何をするかは人それぞれ違う。多様で当たり前だ。以前、「マズローの逆ピラミッド」について書いたが、まず精神的な満足を得ることを目指すというのが正しい。

状態や状況を言い訳にはいけない。また、社会制度の上に横たわり安心を得る生き方の代償は大きい。

しかしだ。何が自分の充実感の本質かが分からないという人は多いだろう。若くして、特定の仕事に道を見出す人は少数派だ。だが、歳をとっているからという理由で諦めたり、真の充実感を忘れてしまうことは不幸ではなからうか。

「これが私の生きる道。今日も一日頑張った」

満足感はどこにある。それが本当の自分の道ならば。

## 人生のコツ

保管 | 21:41

### 人生のコツ

2011年10月31日(月)

昨夜の野球番組を見ていて驚いたことが一つ。

ボールを飛ばす打ち方とは、インパクトの瞬間にだけ力を入れるのだ

とか。初めて聞きました。驚きですね。とはいえ、私が打席に立つことは無いでしょうが。(笑)

さて、今日のルーンはナウシズの逆位置。

ん、なんでルーン？

ルーンをご存じですか？

ルーンとは古代文字であり、強力な占いの道具なのです。

その意味は、「苦しみを謙虚に受け入れ、強い信念で感情をコントロールして、明るく振る舞うこと。自らの人生の暗闇を、光の中に連れて行くこと」だとか。

ナウシズはニードとも読みます。

こちらの解釈では「打破する力強さや過去との決別」が求められます。

特に「臆病」や「不安」という敵に勝たないといけない。それも乱暴にではなく、慎重に。まずは、インパクトの瞬間を待つこと。最初から力を入れたらダメなんですね。これが「人生のコツ」でしょう。

2011年10月の頃

2011年 | 21:28

監禁生活から解放される。

2011年9月の頃

2011年 | 08:05

監禁生活。

2011年8月の頃

2011年 | 08:04

警察の手で病院に連れ戻される。いったい裏でどういう組織が動いていたのか。この月は完全に監禁されていた。

当然、メモはない。

2011年7月の頃

2011年 | 08:03

有名雑誌社から取材の依頼が来てこれに応じる。1ヶ月の徹夜麻雀の影響で不眠症になる。ホテルを転々とする。入院し脱走する。またホテルを転々とする。贅沢三昧の生活。

メモはない。

2013-11-15

2012年7月の頃

2012年 | 00:38

小説を書きだした。

作家を自称した。

メモはない。

2012年6月の頃

2012年 | 00:27

テーマ曲をコラボしてボカロで作った。

ニコ動にアップした。

新しいブログを作った。

メモはない。

2012年5月の頃

2012年 | 00:25

ニコ生やUSTでの放送に熱中した。

ニート研究をするため、自らニートになった。

メモはない。

2012年4月の頃

2012年 | 00:24

悪徳病院に転院した。

手続きがいろいろと大変だった。

メモはない。

2012年3月の頃

2012年 | 00:19

イベント「R杯」を主催する。

もう一つのイベントは体調不良によりドタキャン。

長年の主治医を離れることにするも、どこからも転院を断られた。

2012年2月の頃

2012年 | 00:17

転居。M氏の支援で、結局、事務所用マンションに引っ越した。

2月27日、オーダーメイドシャーマニックワンド到着。

この頃から変調となる。

理由はわからない。

内在的目標と外在的目標の融合

保管 | 00:15

内在的目標と外在的目標の融合

2012年01月14日(土)

昨年来「本当の自分」を生きる、を主張してきた。要は、お金や地位といった外在的な目標ではなく、自分自身の活動や成長という内在的な目標で生きるということだ。これが幸福の条件だということは、現代心理学の定説である。ハーバード大学の、I・カワチ氏は著書の中で、「アメリカンドリームを追い求めるとあなたの健康を害するおそれがあります、という警告を政府は出すべきかもしれない。」とも述べている。

しかし、本当の自分にこだわり過ぎると迷路に入ることもある。考え過ぎても行けない。永遠の自分探しならまだしも、それを求めて各種セミナーを渡り歩くようになると、それは違いうだろうとも思う。

経済的に余裕があれば（一生働かなくて暮らせる資産があれば）、内在的目標に集中できるだろう。しかし、現実にはそういう人は少ないし、ある程度の外在的目標は必須だ。

私は新奇探求遺伝子の多いタイプだ。なのに良く50歳まで社員がつとまったね、と驚く人も少なくない。私が自分自身の本質で生きてゆくのはこれからののだ。研究所を設立し、コンサルタントの看板を掲げているものの、最初にした仕事が文芸書の出版だった。この本は、私の前半生の魂の結晶だ。ペンネームを使ってひっそりとアマゾンでだけ販売している。実にストラテジストらしいやり方だ。私は本質的に思想家であり、表現者であり、イノベーターなのだ。

しかし、普通にやっていたのでは無収入に近い。ビジネスを反対物と見るのではなく、融合可能な領土として、新しいビジネスを創造したいと思い立った。まったく新しく、かつ追従者が出来ないか、出ても独自性で勝負できるような領土を作ること。それには、コトラーの言う通り、以下の三つがポイントになると思う。

1. 普通ではないビジネス
2. 人びとを感動させるストーリー
3. 顧客エンパワーメン

エンパワーメントとは政治学的で難解な用語だが、単純に「顧客参加」と考えれば良い。

さて、そこでまず大事なのが仲間だ。

ふむ～。私には仲間がいるような、いないような。

おいおい、そこからかよ、と笑って欲しい。道化師でもある私は、笑われると嬉しい。私は、あなたの笑いに貢献しているのだから？

2012年1月の頃

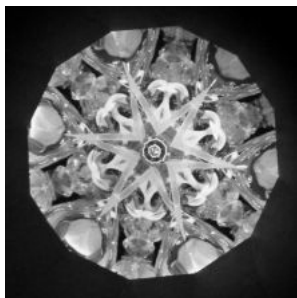
2012年 | 00:12

正月はパニック的落ち込みで死んでいたが、アルコール療法で復活。

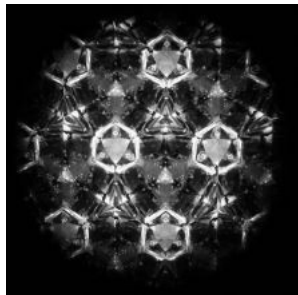
浪費。A . B . A R Tの時計が気に入った。今はもうない。探したが  
ない。

万華鏡

保管 | 00:09







万華鏡工房で自作。

万華鏡は再現性なき一瞬の連続。人生と同じく。

2013-11-16

2012年8月の頃

2012年 | 00:21

壊れキャラ時代が始まる。

詳細は「壊れキャラの記録」として別カテゴリーで保管。

ロンドン五輪。新ブログ。小説執筆など。暑い夏。

ラブレター

壊れキャラの記録 | 00:18

ラブレター

2012年09月04日(火)

僕の見ている世界と、君の見ている世界には断層があって、二人はまったく違うものを見ているんだ。だから、僕が君の見ている世界に行きたいと思っても、そこには断層があって、どうやっても無理なんだと思う。

世界には断層はたくさんあるんだけど、僕の不幸は、僕が君を愛してしまったということなんだ。だって、世界が違うんだよ。これはもう、不可能を願ったようなものなんだ。蛙が像になりたいと言うようなものさ。馬鹿げてるんだよ。

で、僕の世界にはだれもいないんだ。君の世界には楽しい人たちがたくさんいるらしいね。僕には、楽しいがいっぱいで、なぜいつも楽しいのかが、まったく理解できない。みんな、毎日を楽しむのに一生懸命だというのもわからない。でも僕は、君を愛してしまったんだ。

僕は、愛について少ししか分かっていない。でも、きっと君は、愛について、ぜんぜん分かっていないと思う。愛ってやつは、熱くて、どろどろしていて、いろいろなものが詰まった大きな鍋なんだ。それって、絶対においしくないよね。僕は間違っ、その鍋の中に君を入れてしまったんだ。ごめんよ。

意識は身体を越えられないし、多分、経験も越えられない。君は、身体のない愛を想像できるかい？ 経験のない愛を想像できるかい？

僕は今、とても疲れていて、何をしようという気力もない。ただ、ぼーっとしているだけさ。でも、君を愛しているけど。鍋の中を覗き込んでいるけれど。

君は、断層をみたことがあるかい。それは目には見えないけど、世界の壁のようなものさ。君は、ほんの一瞬も僕のことを意識しない。だって、君には僕が見えないのさ。僕が目の前にも、君は僕が見えないのさ。

だから、今日はラブレターを書いてみた。これなら、君も読めるんじゃないかな。僕は言いたいんだ。僕には、君が見えているよ。それは僕が、愛の不思議な力を持っているからだよ。

そして、僕の世界には僕しかない。いつのまにか、たくさんの断層ができていたんだ。君には見えない断層がね。きっと、ラブレターは風に飛ばされて川から海に流される。美しい運命だね。

海がきれいなのは、そこにたくさんのラブレターがあるからなんだね。

君もいつか、海に行くだろう。

そして、僕も。

## 恋愛といじめの哲学

壊れキャラの記録 | 00:16

恋愛といじめの哲学

2012年09月03日(月)

今日は実に俺らしく、知的に読書会だった。それは2階で、縁起の良いことに13人だ。薄暗い部屋。まるで秘密結社の会合だな。俺はそう思った。

カレーを食べている人もいる。ケーキを食べている人もいる。しかし、重要なのはそんなことではない。メンバーがそれぞれこの本をどう読んだかということだ。つまり、テーマは本ではなく読者であるこのメンバーなのだ。おかしい。これでは真面目な日記だ。

読書会の途中でメールが入った。叔父の訃報。そうか、亡くなったか。

議論は白熱したようで、蛍光灯だったかもしれない。部屋が広いのにエアコンは一つだ。9月2日。まだまだ夏だ。故に、熱い読書会になった。

この本の主人公は僕で、僕は学校でいじめられている。そして、コジマという同じクラスの女子もまたいじめられている。二人は健全な男女交際を始める。デートが美術館だなんて実に文化的だ。

読書会では話題にならなかったが、文庫本には作者の写真入りの広告のチラシが入っていた。なかなか可愛い。最近2回目の結婚をし、出産したばかりだ。旦那も作家で、一つの部屋で仕事をしているという。どこからそういう情報が出てくるのか。流石は秘密結社だ。

この読書会に参加するのは4回目だ。参加者は皆、我が強く、弁がたつ。ここで喋るには、気を強く持って、筋金入りの文脈を準備しないといけない。揺れたら負けだ。

だが、俺には困った問題があった。歯が劣化してしまい発声がうまく行かない。これはハンディーだ。言い訳に聞こえるかもしれないが、きつと言い訳だろう。

コジマは中学生で、離婚して別居中の貧しい父を思って、そのしるしとして、汚い格好をし、風呂にも入らない。しまいには絶食してしまう。これは親が悪い。子供は子供だからだ。何と言っても中学生だ。しかし、悪いと判断したところで、それは現実だ。現実とはそういうものだ。

主人公の僕はバカだ。鼻が曲がるほど蹴られて血を流しても学校に行くなど、ただのバカだ。でも人間なんて、ほとんどがバカだ。俺もバカだ。

それに比べて、いじめる側の百瀬というのは賢い。すべての行動を理屈で説明する力がある。利己的で打算的で貪欲で邪悪な者。しかし、こういう要素を根っこに持っていないと、今の時代は生きられない。Kさんが、ネオリベ的自己責任型と言ったが、そうなのかもしれない。

子供の世界が無邪気なら、大人の世界は適当でいい加減だ。社会秩序など、体系的なように見えて矛盾に満ちている。この矛盾を抱えながら生きること。それが良き生なのだろう。ピュアであることの、割り切れることの危うさ。筆者はこれを伝えなかったように思う。それは諦めでもあり、妥協でもある。

人は青春の一時期、それを拒む。ピュアでありたいと思う。それは通過儀礼のようなものだろう。だから青春は美しい。そして、大人は美しいくない。別に俺のようにとは言わないよ。

結末の文学的表現についての指摘もあった。主人公の僕とコジマは二度と会うことが無くなった。そして、僕は斜視の手術をし、視界が変わる。そこで見たもの、繰り返される「ただの美しさ」という表現が何を意味するかという議論である。僕はコジマとこの美しさを共有したかったのだろう、という読みである。

だとすると、その切なさは何だろう。

初恋が美しいのは、それが終わるからだ。理屈っぽい小説という評価が多かったが、これは恋愛小説なのかもしれない。そして、それが恋愛だったと気がつくのは、終わってからなのだ。

ふむ。この日記、そのまま俺の書評ブログにアップしてみようか？

悩むのは反応。悩まないのは意思。

壊れキャラの記録 | 00:15

悩むのは反応。悩まないのは意思。

2012年08月22日(水)21時22分25秒

悩むのは反応。

悩まないのは意思。

そういうこっちゃ。

お気楽は性格じゃない。

哲学的な構えやねん。

まあ、ぼとぼち書くわ。

今日はこの辺にしとこ。

じゃーねー。

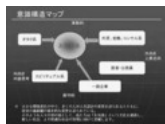
## お気楽文化研究所

壊れキャラの記録 | 00:10

お気楽文化研究所

2012年08月21日(火)

時代は「お気楽」へと向かっている。緩く生きること。これこそがテーマだ。



そこで私は「お気楽文化研究所・設立準備委員会」の委員長になった。  
設立趣意は下記の通りだ。

### 設立趣意書

「お気楽」とは、能天気なことではありません。

それは、余裕のあるしなやかな構えです。

成功幻想に駆られることも、精神世界に救いを求めることもありません。

いわば、現代における成熟。

それが、私たちのいう「お気楽」です。

お気楽文化研究所は、お気楽についての研究を通して、より多くの  
人々に、そして社会に貢献することを目的として設立を目指しています。

より多くの方が、お気楽の構えで生活できることを願って、情報提供  
や場の創出を行うことを主な事業とします。

広げよう、お気楽の輪。

2012年8月21日 発起人 お気楽 ちゃん

賛同者はコメントまたはメッセージで連絡をお願いします！！

「お気楽」それが私の進む道！！

宇宙人のつくりかた



壊れキャラの記録 | 00:06

>> 宇宙人のつくりかた

2012年08月03日(金)

<宇宙人のつくりかた>

1. 夏、蓼科高原でモンシロチョウを生きたまま捕まえる
2. 火葬場に潜入し、遺骨を少し持ち帰る
3. 遺骨をミキサーですり潰し、塩と混ぜる
4. モンシロチョウに遺骨の粉と塩を混ぜたものをふりかける
5. マネキンの中にそのモンシロチョウを入れる
6. マネキンを風呂に入れ洗剤で洗う
7. マネキンを頭を北にしてベッドに寝かせ宇宙人の呪文を唱える
8. 成功すれば、マネキンは消え、宇宙人が現れる

2013-11-17

注射と寝小便

壊れキャラの記録 | 00:42

注射と寝小便

2012年09月12日(水)

今日は病院で知能を注射してもらおう予定だったが、寝坊した。あ、冗談だからね。

それにしても、元気や幸福は販売されているのに、なぜ知能は販売されていないのだろう。これは、教育業界の陰謀に違いない。きっとそうだ。

今日は、寝坊をしたので、遠くの病院ではなく近くの病院に行った。久しぶりの血液検査だ。H b A 1 c が問題なんだよな。血統値と、C K と。

あ、ーG P T も駄目か。中性脂肪はどうだろう。コレステロールもか。ふむ、全部か。それで、寝小便は治るのか。疑問だらけだ。

俺の冗談に「ムカツク」と言った女がいる。なぜか嫉妬しているようだ。ロブ＝グリエみたいだぜ。あ、ロブ＝グリエというのはフランスの作家で、「嫉妬」という小説を書いた人だね。会ったことないけど。

俺は一日、働きもせず、好きな時間に起きて、好きなものを食べ、好きなことをする。お気楽だからね。昨日も卵かけご飯、所謂、T K G を食べた。羨ましいだろ？

今日も、ゆで卵を食べたぜ。

こんな、アホ臭いブログを読んでいる貴方は、相当に暇で、幸せなのだと思う。え、誰も読んでいない？ その証拠にコメントが無い？

痛いところだな・・・。

今日の注射も痛かった。血管に欠陥でもあるのだろうか。これから昼食だ。着て出る服がない。パンイチはまずい。また、警察が来る。冗談

だよ。

アメブロもだんだんと調子が出てきた。演技をやめて地を出している。それで、本当に良いのだろうか。疑問は残るが、もう戻れない。

## メッセージ嫌い

壊れキャラの記録 | 00:39

メッセージ嫌い

2012年09月11日(火)

俺さ、メッセージ臭いブログって嫌いなんだよね。別にメッセージなんて求めてないし、何様のつもりって思うんだ。もっとも、俺も最近までそういうブログを書いていたかもしれないけど。

笑いと発見かな、求めているのは。抽象的なことは、どうでも良いんだよ。何とでも言えるからね。

でね、アメブロってアメブロじゃない。怪しい商売が行き交う街じゃない。まあ、「お気楽文化研究所」も相当に怪しいけどね。そんな街にいるのは、当然ながら怪しい人が多いわけで、その中にも良い人と悪い人がいて、時々、宇宙人がいるんだな。

今の時代、大事なのはキャラなんだよな。俺はもう、壊れキャラさ。こいつ、今日も壊れてるぜ、ってな笑いが出ればOK。ちがうかなあ？

C 2 3 H 2 7 F N 4 O X、の影響なんだよ。薬剤師さん、わかるか

い？

おっと、薬剤師さんはここには来ないか。来るのはF X屋さんと古本屋さんだっけ。あとは、セミナー屋さんね。

壊れた俺の展示場。それがこのブログかな。そんなの見て、面白いって言う人がいるかな。いないような気がする。やはり、役に立つ情報や、面白いネタを求めている人が多いんだろうな。

もう飛行機には乗らないよ。飛ぶのが怖いんだ。U F Oなら安全だけどさ。

でもね、俺のブログ、アクセスはあるのにコメントが無いんだな。いったい誰が来てるんだろうね。不思議だよな。

本題に戻るけど、こうすれば貴方は幸せになるとか、大きな勘違いだと思う。その人のことを何も知らないんだよ。「頭、大丈夫ですか？」って、俺に聞かれたらオシマイだよな。

鬼束ちひろの歌に「あなたのように、なりたくないの」って歌詞があったけど、強烈だよな。一度、使ってみたいんだ。俺って、本当に嫌な奴だね。

くれぐれも、安っぽいメッセージに騙されないでね。そして、この程度なら自分でも出来ると、間違った方向に進まないでね。今日は、こんなところかな。じゃーねー。

イカタコ日記

壊れキャラの記録 | 00:35

イカタコ日記

2012年09月10日(月)

3年前の8月30日。民主党が大勝した日を覚えているかい？ 俺は今日、区役所に行ったんだ。それから本を買い、寿司を食べた。いいかい。岩牡蠣やウニやいろいろ食べて酒を飲んだんだ。そしたら酔っぱらた。

だから、大事なのは3年前なんだ。その日も俺様は日記を書いた。比較すると良い。知能レートが1/3になっている。どおりで将棋も何も勝てないはずだ。社会的にマズイことになっているのだ。

宇宙人会議で検索してみると良い。とんでもない事実を知ることが出来るだろう。そう、それは事実なのだ。

今日は銀行に行って金をおろし、芦屋のホテルで本を読んだ。イカレテルだろ。タコみたいにトロだぜ。納豆巻きも食べたんだ。

そういや、最近言われたことがある。

「いつまで人前に顔を見せるんだ」ってね。

イケテルだろ。相当オカルトなんだ。断捨離で人生を捨てたんだよな。覚えてないけど、決断したんだよ。

今年は何回「サヨナラ」を言っただろう。ギャモンにサヨナラ。バックにサヨナラ。性欲にサヨナラ。オナラにサヨナラ。

来生とかいてキスギと読む。なんか歌があったよね。若い歌だったな。今も若い。まだ百歳にもならないだろうな。想像だけど。

どうやら、そういうことらしいよ。これは暗号だからね。まあ、誰も解けないかもしれない以前に、3人も読まないんだろうけど、書いておくよ。丘の上の患者のようにね。

株はもう紙切れさ。額に入れて飾ると良いよ。楽しい思い出になるからね。エテイヤ、エテイヤ。勝手に占いを作るなんて、素敵。

止まらない狂気の波動。もしかして、復活するロバート？

狂気とは、大いなる正気という意味だからね。場外の上はホームラン。分かる人には分かると思う。ホームランか。高校時代のホーム突入を思い出した。アウトだったね。

そう。だから。従って、3年前。2009の秘密。嗚呼、この年も入院したんだな。そうだ、目覚めた年でもあるんだな。生に。

あれから3年か。長かったよ。魔の2010。激の2011。2012は何だろう。起承転結。時は止まったように見える。だから宇宙人。

ソサエティ、コミュニティ、インテンシティ。言葉の遊びは良い加減。毒は吐かないと。

腕時計とベッドを買うことにした。寝具は大事だ。そうだ、今からトイレットペーパーを買いに行く。宜しく。

## 求められる変人

壊れキャラの記録 | 00:30

### 求められる変人

2012年09月07日(金)

ニューエコノミーで必要な人材は、変人と精神分析家だ。ロバート・ライシュに言わせると、変人とは以下のような人のことだ。

1. 空想家であり革命家  
ふむ。俺かな～？
2. 新しい問題を発見してそれを解くことに喜びを見出す人  
なるほど。
3. 強い芸術性と巧妙性、鋭敏性、完璧性を備えたマインドフルネス  
ここが重要。完成度の高さね。
4. 新しい世界を打ち立てること。対象との一体化 要はパーソナリティがハッキリしていること。

お気楽と言えば、こういうことで、それは ちゃんとなればOK。これらを通して自分というブランドの価値と評価を市場の中で高めること。それこそが、ニューエコノミーにおける昇進なんだってさ。これに意識して取り組むことが個人事業主のマーケティングやね。あかんわ。これからやわ。(笑)

## セラピスト・セラピスト

壊れキャラの記録 | 00:27

セラピスト・セラピスト

2012年09月05日(水)

あれは去年のことだった。男は誘われるままに、某セラピスト社団法人のボランティア・スタッフになった。本当に誘惑に弱い男だ。きっと誘惑されたことがあまりないのだろう。それとも据え膳と勘違いしたのだろうか。

その日から男のブログが変わった。場末泡沫から という名前に変わった。しかし、URLは、xxxxxxx のママなのだから間が抜けている。本当に間抜けな男だ。

男の周辺もセラピストだらけになった。男は日本ゲシュタルト療学会の会員でもあった。その方面でも、多くのカウンセラーやセラピストと知り合った。男は勘違いした。人口の3割はセラピストだろうと思った。そして、自分もセラピストになれる、いや、すぐにでもなれると思った。

男はタロットに精通していたので、タロット・セラピストを名乗った。ブログで宣伝もした、しかし客は来ない。当たり前だ。でも、男は拗ねた。いい歳して拗ねるなんて男ではないが、男は拗ねたのだ。事実だから仕方がない。



1年たって、客が来ないので男は廃業することにした。

男は最近、文芸にはまっている。自称作家らしい。可哀想にも見えるが、きっと可哀想なのだ。だからセラピストの支援が必要だ。男は今も、複数のセラピストと定期的に会っているらしい。メールでやりとりしているセラピストもいるという。

これをミイラ取りがミイラになった、と言っははいけない。それはセラピストに失礼というものだ。

心の世界は底なしだ。だから少し見るくらいが丁度良い。しかし、男は今、心の世界にどっぷりとつかっている。また怪しげなセミナーに行くという。実にそれを楽しみにしているらしい。好きにしたら良い。

魅了する力。セラピストに必要なものは、これに尽きる。男は今これに気がついた。さあ、やり直そうか？

2013-11-18

悩めるお気楽

壊れキャラの記録 | 01:07

悩めるお気楽

2012年09月20日(木)

お気楽とは何か。そんなことに悩むようではお気楽と言えない。適当に何か語って、最後にわははと笑えば良いのだ。と、ここまで書いて、既に芸風が乱れていることに気がついた。書き直しだな。

知的なお気楽というのは、悩んでも解決しない問題については考えない。だって、時間の無駄じゃん。それよりデートしてる方が楽しいじゃん。

ん。デート。そう言えば最近デートをしてないぞ。そうだ、相手がないんだ。ワハハ。

笑いごとじゃないぞ。悩みってデートか？ なんか違ったような気がする。

お気楽である以上、モテないとだめだ。歳をとっても若い子が寄ってくるだけの魅力が欲しい。一番は顔、二番は服装、三番が体型、四番目に性格、五番目に頭脳。まあ、順番はどうでも良い。え、お金？ それは気にしない・・・。

でもね。昔、こんな会話があったんだよね。

TT氏「モテて、良いなー」

俺「いや、モテるとお金がかかって大変ですよ」

看護師「痩せたらモテるでしょ」

俺「モテたら、金かかって困るでしょ」

看護師「・・・(何やら反論)」

注 看護師ならダイエットは健康のためと言うように！！

モテ期って本当にあるんですね。

いつも女性に囲まれている時期が。

そんな時代もあったねと、笑って済ませるのがお気楽だ。お気楽は決して悩まないんだ。あるいは、悩むことを楽しむんだ。悩むことを快樂にするんだ！！

お気楽　　ちゃんは、小太　　ちゃんに挑戦するのであった・・・。  
中　　今は小太りを超えて肥満につき！！

## 優越感と劣等感

壊れキャラの記録 | 01:03

優越感と劣等感

2012年09月18日(火)

優越感の好きな人って多いよね。スポーツだった優越感が欲しくて、勝ちたくてやってるわけでしょ。学歴も収入もそう。優越感が生きる支えになってる人もいるよね。

俺も昔はそうだったのよ。なんでも勝ち負けで考えていた。でもね、優越感を支えに生きるって、とても恥ずかしいことだと思ったんだよな。

じゃあ、劣等感を支えに、というかバネに生きるっていうのはどうなんだろう。それも結局は「こだわる」ということで、克服にはならないと思う。

お気楽というのは、優越感とか劣等感とかを超越しないといけないん

だ。それには、心の成長が必要なんだな。強くてしなやかな心を育てないといけないんだな。そしてこれは、青年期で終わるものではないと思う。いくつになっても、心を見つめて育てる努力が必要なんだよ。あれ、お気楽じゃないか？（笑）

お気楽は嫌悪感も越えなければいけない。そういうものと無縁でいたいんだよ。そう考えると、俺はまだお気楽じゃないんだな。だからお気楽文化研究をする必要があるんだな。

嫌悪の克服。それは排除してしまえば簡単なんだけど、それでは世界から孤立するだけだよな。

新しい世界のために。いま、お気楽の哲学が求められているんだな。

## 時代の気分はこう変わる

壊れキャラの記録 | 01:00

時代の気分はこう変わる

2012年09月15日(土)

俺はね、時代の気分を変えたいのさ。いまの社会の持つ価値観とか常識とか観念とかいったやつを含めてね。まあ、野望かもしれないね。だから俺は、小説を書き、詩を書き、コラムを書いている。まあ、燃えている時と、燃えない時があったけどな。

仕事一筋に生きてきた50代なんて視野の狭窄でしかないからさ、そういう人の話は聞かない方が良く、ましてや友達なんて無理さ。え、

今の50以上の男性はほとんどそうだろうって？ そうかもしれない。  
ま、話もしたくないね。

俺が応援したいのは、世代間格差という構造に埋もれて倦怠感を引き  
摺っている若者の方なんだ。なんだか共感できるんだよな。何も知らない、何も出来ないおっさんに古い価値観を、たとえば努力とか根性とか  
忍耐を押し付けられて吐き気のしている若い世代の力になりたいんだ。  
ただし、力は無いんだけどね。

力か。腕相撲も弱いしな。金は無いし。こんな奴だから、変な人脈ば  
かりさ。今度、UFO見に行かない、とかね。

でも思うんだよな。今の若者を支配している無力感。これはマズイ  
ぞってね。若者には未来を変える力がある。これは真実なんだ。だから、  
発信しよう。そして、交信しよう。

点は線になり、輪になって、いくつもの輪が広がって、ぶつかって、  
時代の気分が変わって行く。視野狭窄のおじさんやおばさんに任せてい  
たら、大変なことになるぞ。

ちょっと話が固かったかな。男が固いのは夜だけで良いだって？ 意  
味がわからない。

「若者のためのお気楽講座」でもやろうかな。いいね。中年のための、  
高齢者のための、主婦のための、父親のための・・・内容は全部同じよ  
うなものさ。(笑)

まず、世界を疑え。あなたは、政治も、経済も、社会も知らない。メ

ディアが作り出す世界を信じているだけだ。虚妄を捨てよう。

世間は3連休だけど、俺は365連休だからね。だから、土曜日の朝にブログなんか書いているのさ。

あ、それから俺、住みなんだけど、友達募集中なんだ。未来の社会を夢想的に語れる友達をね。あなたは無力じゃない。その証拠に、このブログにたどり着いた。これから、楽しくなるぜ。

芸風は大切に

壊れキャラの記録 | 00:57

芸風は大切に

2012年09月14日(金)

せっかく新しい芸風が出来つつあったのに、今日のエントリー「閑暇という豊かさ」はプチ壊した罫。みかんみたいに酸っぱい、いや失敗よ。あれ、みかんは甘い？

あの原稿は、3年前にミクシに書いた日記のコピペ物なんだ。忘れてくれ。今から消すから。なんたって、ここは「お気楽文化研究所」なのだ。あの文体はイカン。オカンであつてもイカン。悪寒を覚えるくらいだ。

だいたい俺は、3年も進歩していないのか？

進歩だって。お気楽の好む語彙じゃないかな。いや、どうでも良いか

な。ブルブル。また頭が振動してきた。ちょっと芸風に対して意識過剰かもしれない。でも、芸風は大事なんだ。いまは芸風を確立する時なんだ。

そんな訳で、過去の日記をどんどん消そうと考えている。まあ、アーカイブかバックアップか、いろいろ手を打つのですぐにはいかない。でも、ビジョンはあるんだ。何となくだけどね。ふむ。

でも俺の仕事って何だろう。サラリーマン コンサルタント セラピスト 研究者 小説家・コラムニスト(いまここ)

いかんいかん。仕事より芸風だ。つまり、仕事より自分自身ということだ。スタートはここからなんだ。間違っちゃいけない。手順は大事だよ。

どう大事って、出してから拭こう。出す前に拭いても意味がない。そういうことだな。あ、お食事中は読まないように。ねっ(愛)!!

究極のセラピストは人類を救えるか？

壊れキャラの記録 | 00:54

究極のセラピストは人類を救えるか？

2012年09月13日(木)

地球を救うためには、人類滅亡が良いと思うよ。地球を救うって、結局、人類を救うにすり替えてないか。すごく下品で、いやらしい言葉に感じるわんこ。にゃんこ。天気予報。

今読んでる「ワーク・シフト」いう本に書いてあってんけどな、先進国の人は収入が上がっても幸福感は下がる、いう調査結果が出てたわ。消費と所有の時代は、もう終わってるんだよね。なるほど、納豆。

で、今日ふと思ってんけど、究極を言うと、意味とか価値とか関係ないねんな。存在しているだけで満たされているという感覚。そう、子供の頃のあの感覚。それが一番大事やなって。これが出来れば、究極のセラピストやで。

こういう天然ちゃん、お気楽ちゃんの友達って良いよね。とてつもない安心感があるよね。絶対に楽しいよね。決まってルーシー。

語尾というか文末が変やけど、許して寝床。明日からは真面目に不真面目するからね。で、僕ちゃん昔、有名企業で良い給料貰ってましてん。でも、忙しかったなあ～。そんな時、安月給の人たちと知り合っってショックだった。そっちの方が楽しそうやん！！なんで？

結局、地位とか収入に縛られると苦しくなるねんで。頑張っって上へっって、酸素が薄くなるだけやで。過労死とか、何件も見てきたわ。まあ、会社辞めて本当に良かったと思ってる。ちょっと壊れてしまったけどね。

壊れたいときは、心行くまで壊れたら良い。中途半端に格好つけると痛々しい言うのは、教えといたげる。バサッと行こう。

そんな訳で、お気楽文化研究所というのは、文明の大転換を企図する、上品な人の集まりなんですわ。ほんまかいな・・・??? (謎)



2013-11-19

成長する喜び

壊れキャラの記録 | 00:45

成長する喜び

2012年10月01日(月)

教育において大事なことの一つに、成長する喜びを味わうということがある。あれ、俺らしくない書き出しだ。いつもは教育批判をしていたのに、どうしたことが・・・。

先日、ある競技(ゲーム)のトッププレイヤーと話をする機会があった。

「どうして強くなりたいんですか？」

「自分が成長し、進歩することが喜びなんです」

競技をしている時が楽しいとか、それが気晴らしという人とは、根本的に構えが違う。勝ち負けという結果よりも、自分自身の成長に価値を置いているのだ。

しかし、教育において成長する喜びを知る人がすべてではない。教育制度とは、より多くの人に挫折感と敗北感を植え付けるためにある悪のシステムだと、イリイチという思想家は言っている。こういう人達に、成長する喜びを強要するのは、いかがなものかとも思う。

私はトッププレイヤーの話聞いて素晴らしいなと思った。と同時に、

私はそういう種類の努力は出来ないとも思った。ある意味で自分を知っているからだ。

私には私の成長すべき領域がある。人それぞれ、それで良いのだ。ここで再び敗北感を味わう必要などまったくない。

成長のための努力が楽しみにならず苦痛になるようならば、努力に意味はない。そこが試練だと言われても、私はノーと言う。だから敗者になるのだと言われても、自己責任だと言われても、意味のない努力は拒否する。お気楽な私は、それで正しいと思うのだが、いかがだろうか？

## 高慢

壊れキャラの記録 | 00:43

### 高慢

2012年09月30日(日)

いやー、私は高慢な人が大嫌いだね。そう言った後で、私はぞっとした。もしかして、私って高慢？

高慢とは、他者と比較して自分を高い位置に持って行くことだ。自分が特別な存在だというのは正しいのだけれど、人は誰も特別な存在だと認めていないといけない。はっきり言おう。私は高慢だった。(笑)

特に高慢な人間を見つけるとファイトが湧いた。なんとかして私はその上を行きたいと思った。なんだ、私の方が高慢だったのか？ 昨日からそんなことを思うようになった。

お気楽というのは自信に支えられた楽観的態度だ。高慢というのは罪というよりも害毒だと思う。そういうものを心の領域に入れてはいけない。

もちろん、セルフイメージは重要だ。しかし、それは健全であるべきなのであって、低いのも良くなければ、高いのも良くない。セルフイメージを高めようとブランドで身を固めるのは痛々しい。ブランド品を否定しているのではない。それを持つ意味が大事だ。芸術や文化を否定しているのではなく、それを利用しようとする心が問題なのだ。

私はジョークとして「日本を代表する人格者」を自称しているが、欠点だらけの人間である。今日は高慢に気がついた。裏返し of の卑屈もあるのだろう。気づくことで手放せる。感謝。

## ブログという食卓

壊れキャラの記録 | 00:41

ブログという食卓

2012年09月29日(土)

「ブログって食卓だよな」

「何それ？ どういう意味？」

「今日のブログに何が書いてあるかと、今日のメニューは何なのかは、とても似ているんだ。定食屋もあれば、イタリアンも中華もそば屋もある。毎日みんなが覗く店というのが人気ブログなんだね。いくら美味しくても、いつも同じラーメンしか置いてない店は覗かれないってこと

さ。」

「なら、どういう食卓にすれば良いの？」

「それはオーナーのおもてなしの心なんだよね。いつも残り物で作ったような料理 = ブログを食べに来る = 読みに来る人なんていないだろ。でも、そういうブログって多いと思わない？」

「そうか、ブログはお客様に出す料理ってことね。」

「そうだよ。クッキー一つ、コーヒー一杯でも、おもてなしの心が大事なんだ」

「なるほど。毎日ラーメンとか、私はいやだわ。」

「まあ、ラーメン好きにはもってこいだけだね。ラーメンにも種類があるし」

「で、あなたのブログは何屋さんなの？」

「ああ、今工事中なんだ。ごめんね」(爆)

ブログは食卓です。はい。

## 黄金の法則

壊れキャラの記録 | 00:39

黄金の法則

2012年09月23日(日)

「どうすれば儲かりますか？」

俺にそんな質問を投げた人がいた。しかし、この設問は無知に属する。あまりに簡単な質問だ。俺はこう答えた。

「楽しんでいれば、自然に儲かるに決まっていますやん」

別に怪しい宗教にはまったわけではない。脳は楽しんでいる時に最大限に活性化される。勉強でもスポーツでも同じことだ。「楽しむ」ことに主眼を置くのは、教育方法としては基本のキだ。

企業が成果をあげるには、社員のモチベーションが重要だということは、50年以上前から心理学者が指摘していた。いまは「モチベーション3.0」がちょっとしたブームだが、遅い。

問題は、楽しむという行為が、社会的、心理的「規制」によって、実行できないということだ。もちろん、反社会的な行為を推奨するわけではないが、心理的な自主規制には気がついていない場合が多い。ここを取り除くのがお気楽ですか？

次に、儲かったらどうするのか……。

溜め込むというのは一番良くない。肥満になるからだ。どんどん使うことだ。もちろん、生きたお金の使い方を。そうすると、お金が回りだし、ますます儲かるようになる。

「金は天下の回りもの。それなら一緒に回しましょ。」

と、ここまで書いて気が付いた。俺もそろそろ稼がないといけない。もっと楽しいを追及したい。まあ、なんとかなるやろ。それがお気楽。

お気楽は三文の得

壊れキャラの記録 | 00:36

お気楽は三文の得

2012年09月21日(金)

昔から、お気楽は三文の得という。まあ、お気楽は損得にこだわらないので、何が得なのかはどうでも良い。ああ、今日もバカなこと書いてるなあ。よくこれだけ、バカなこと書けるね。それって才能？

そうなのだ、こんなブログに毎日100人もの人が来るのだから驚きだ。こうなったら、日本一おバカなブログを目指してはどうか。そんな声が聞こえてくる。きっと、幻聴だろうな。

私のブログの特徴はモバイルからのアクセスが無いこと。これ、真面目に理由の分かる人は教えて欲しい。ところが昨日は70ほどモバイルからのアクセスがあった。これも原因不明。どうしてなんだろう。

お気楽は健康に良いと思う。お気楽に生きると将来が不安になると思われるかもしれないが、その心配はない。お気楽だからだ。

つまり、中途半端なお気楽はキツイ。お気楽は揺れても良いが、揺れ過ぎてはいけない。加減が難しい。お気楽スマイルをキープしないと。

そんな訳で、今日は出掛けることにした。お気楽検定を受けてくる。結果は後日ね。

2013-11-20

ペンギン = 人鳥

壊れキャラの記録 | 03:51

ペンギン = 人鳥

2012年10月22日(月)

ペンギンはその昔、人鳥(じんちょう)と呼ばれていたそうだが、ただ、その昔というのがいつ頃なのか。人鳥と呼ばれていたのは明治時代だ。では、日本で初めて南半球に生息するペンギンが紹介されたのは、いつなのか。

文献に登場するのは、1713年。堀田禽譜が「菜覧異言」という本の中で紹介している。つまり、日本にペンギンが紹介されてからおよそ300年、ということになる。

日本に最初にペンギンがやってきたのは、大正4年(1915年)の上野動物園だ。2015年は日本にペンギンが来てから100周年。きっと、お祝いがあるに違いない。

世界的に見て、日本人のペンギン好きは異常らしい。今、日本で飼育されているペンギンは2500羽。世界の4分の1を占めている。日本ペンギン党という党もある。嘘だと思ったら調べて欲しい。なお、彼らは自称ペンギン達だ。

知識として知っておくべきは、その昔、人間がペンギンを食用にしていたということだ。ペンギンはきっと、最適な環境を求めて南極に行った。それなのに海洋汚染とオゾンホールで彼らは絶滅の危機に瀕している。

人間よ、今こそ真摯にペンギン(人鳥)の声を聞け。愛するペンギンの声を聞け。

初めての黒帯

壊れキャラの記録 | 03:49

初めての黒帯

2012年10月13日(土)

不人気一直線のこのブログに異変が・・・。

昨日の16時台だけで、680PV。どういうこと？

ウダウダ・ブログで47位。黒帯になりました。

UUは増えていないので、サイバー攻撃かもしれない。(笑)

研究所を守らないと！！

輝かなくて良いんです

壊れキャラの記録 | 03:47

輝かなくて、良いんです

2012年10月10日(水)

どうして輝きたいと思うかな。別に輝かなくて良いじゃない。輝こうとすると、しんどいよ。

(お気楽の言葉・・・1)

上昇志向に騙されないで。それは世の中の罠です。自分を見失わないで。

いったい何を追いかけているのか。そして何を失ったのか。よく考えて。



2013-11-21

2006年のプロフィール

壊れキャラの記録 | 23:12

2006年のプロフィール

2012年11月05日(月)

### 自己紹介

好きな言葉は「対立」。などと書くと普通にドン引かれるだろう。いや、冗談ですよ。「対立」が好きな言葉なのではなく「対立」そのものが好きなんです。(あ。もっとヤバイか。マイミク解除か。ええ。好きにしてくれ~)

もちろん、「対立」と言っても、憎悪や嫌悪などという幼稚な感情は好きではない。むしろ、対立の根底には敬意が無ければならない思っている。愛情すらあっても良い。それでもなお「対立」せざるを得ないという緊張感が私の生きる糧なのであり、低血圧を解消する方策でもあるのだ。

日本人と言えば「和」だが、「対立」と言えばユダヤ人だろう。私はユダヤ人と同じく、対立の中でしか安住出来ない性格のようだ。

しかも、まずいことにだ。私は外見は日本人だし、温厚で優しそうに見えるらしい。そこで、私の本性を知られると「見かけによらずキツイなぁ」と言うことになる。相手にしてみれば騙されたとか、裏切られた気分になるらしいが、その責任は私にはない。外見で判断した人の「自己責任」だろう。

余談だが、貴方の書いた文章を読んで私は人生の決断をしたんです。それなのに、貴方がそんな人だったとは・・・と嘆かれ、恨まれた記憶もあるが、それも私の責任ではない。「自己責任」だ。

さて、対立と言うととかく日本人はネガティブに受けとめるが、それは大きな間違いである。対立があるからこそ、進歩や成長があるのだ。スポーツであれ、学問であれ、政治、経済、芸術、その他すべてを推進している原動力は「対立」ではないか。なに、「競争」と言っても同じじゃないかって？ 違う。私は「競争」は嫌いだ。(笑)

もっとも、19世紀の某知識人のように、究極の対立は戦争であり、それは「聖」なるものだ、とは言わない。戦争は嫌だよ。暴力も嫌だよ。もっと理性的に楽しく対立しましょうよ。

「対立」「対立」「対立」。それが私の人生だ。会社でも対立。家庭でも対立。どこでも対立。

対立の意義として「成長」や「進歩」を指摘したが、実はそんなものに価値を見出ししている訳でもない。人は「成長」しなければならないとか、生きるには「目標」が必需だとか、人類あるいは文明の「進歩」が重要だなどという思いは個人的な信条か、または、ある特定の社会での通念程度のものであって、まったく真理ではないと思っている。

いや、そもそもこのような種類のものに真理など存在しないと確信している。

一方で、人間は文化というフェティッシュの中でしか生きられない動

物であるという認識もある。私が矛盾しているのではなく、人間という存在自体が矛盾なのだ。

この矛盾を楽しむ以上の楽しみ、快楽がどこにあるだろうか。いや～、いくらでもあるだろう。あれも快楽、これも快楽。今日も私は酔っぱらいかあ。

### 苦悩

人間をカテゴリーに分類することがそもそも可能であるならば、あれかこれかの全生涯の活動に彼らを方向づける深い願いによってである。

「存在の耐えられない軽さ」(ミラン・クンデラ 千野栄一訳)

私の苦悩と苦痛、恥辱、焦り、嘆き、嫌悪、怒り、惨めさ、敗北感、といったものの原点がここにある。

深い願いの対象を見い出せなかったという一点にだ。

深い願い。

これこそが、第一の価値であるという観念は、私の中で深く根を張っている。

### 三無主義

気どらない。気張らない。気負わない。

緊張感とか、危機感とか、嫌いです。

集中した中でリラックスしていること。

こんなの常識なのになあ。

### 人生の意味

人生に意味などない。少なくとも真理としての意味などあるはずがない。人生に意味などないという現実を受けとめて生きること。人生に意味を求めないこと。これが私の考え方の根本です。

同様に、人類がここまで進化したからには、そこに何らかの意思や目的があるのだ、とするような思想や、それを前提にした学問（本当にあるからこわい）は、到底受け入れられません。当然です。

### 高度

そんな低いところで生きているから、しんどいんだよ。もっと高いところで生きなさい。そうすれば、確実に快適に過ごせるでしょう。

（もちろん、標高の高い所に住めという意味ではありません）

### 恋愛

私の恋愛にブレーキはない。

### 欲望

「欲望を中断し、内的欠如、至高の超越者、見えすいた外部、という三つの亡霊に、欲望を依存させる基準を排すること。」（『千のプラトー』ガタリ、ドゥルーズ著 河出書房新社）

### 芸術

芸術というやつは、世界観を揺さぶり、世界観の更新を促すという点にのみ価値があるのだと思う。私は一つの世界観を保ちたいなどとは思わない。むしろ、世界観をたえず揺さぶり、不安定にしていきたいのだし、変化させたいと考えている。それは、ある意味で人間の本能レベルでの

戦略なのだろう。硬直は破滅への近道なのだから。

### タイプ

ある高名なユング学者の分析によると、私は「内向・直観タイプ」なのだそう。つまり、8つのタイプの中で、もっとも現実世界を生きにくいタイプなのだとか。大きなお世話だ。

### 退化する動物

人間とは、退化する動物である。

火の利用によって、歯と顎が退化した。

自動車の普及によって、足が退化した。

そして、コンピュータによって、頭が退化するだろう。

次は、何を退化させようか。

### イタイ言葉

「官能を知らない人は芸術家にはなれない」(なかにし礼)

「人間とは妄想する動物である」(中沢新一)

「ヒトは、満たされることを拒む動物である」(ロバート・クロサキ)

### 運

人は説明の出来ない事があると運で説明しようとする。

運という実体のない概念で。

### 法則

変化をおそれるあまり幻想を作り出してしまうと、変化はますます起

こりやすく、そして受入れ難いものになる。(G.M. ワインバーグ)

台詞

「それは問題ではない。それを問題だと考えていることが問題なのだ」  
(アンディ・ウォーホルの著書をヒントに)

「酒で酔えるなんて、羨ましいよな」  
(某氏、銀座の寿司屋で語る)

「法律は弱者の味方ではない  
法律に詳しい者の味方なのだ」  
(某弁護士)

「海が見たかったんじゃない。  
海が見たい、って言いたかっただけ」  
(つかこうへい)

いい暮らし

「いい暮らしが出来る」という言葉に騙される人は多い。  
多くの人が、金と時間と友達がいれば、などという愚かな発想に陥り、  
「いい暮らしとは何か」と問うことを忘れてしまう。そんなものは人によって違うだろう。

こういう事を口にする詐欺師(あるいは教師)には、「どうして貴方には、私のいい暮らしが何であるかが分かるのですか？」と質問しよう。  
きっと、自らの俗物ぶりと浅薄さを曝してくれるに違いない。

2013-11-23

ニートの居場所

壊れキャラの記録 | 12:30

2012年11月07日(水)

日本のニート(35歳以下)は、70万人と言われている。予備軍や準ニートを含めると約100万人だ。これを社会問題ととらえるのではなく、大きなパワーと考えてはどうだろうか。

日本を変えるのはエリートではなくニートだ！！

しかし、多くのニートは引きこもっている。ニコ生は楽しいが、基本的に居場所がない。体験重視の私も、一時ニートを経験してみたが、一日誰とも話をしないというのは結構辛い。世間の感覚からも遠くなる。

そんな訳で、私は「ニートの居場所」を作りたいと思う。ニート同士が気軽に交流できる場をつくること。本当は行政がやれば良いのだが、行政はニートを個人の欠陥と見ている節がある。

やれ、コミュニケーション能力だとか、メンタルだとか・・・。

しかし、これだけの人数がいるんですよ。これは個人に対する指導なんていうレベルじゃなくて、社会構造の問題なんですよ。

色々な調査書を読むと、ニートである自分を責めている人が8割もいる。そういう観念をぶっ壊したいのですよ。

ニートの居場所を考える会。誰か作りませんか？

## お気楽十箇条

壊れキャラの記録 | 12:24

お気楽十箇条

2012年11月05日(月)

### その1

まず、看板を出すこと。お金がないので、[この](#)のブログで十分。まあ、お気楽にはその辺りが相場だ。

### その2

研究といっても深刻に考えたのではお気楽にならない。学会のジャーナルに寄稿するなどという面倒なことはやらない。お気楽にはその辺りが相場だ。

### その3

お気楽とは「成熟した、しなやかな大人の構え」のことだ。しかし、所長がまだお気楽として認知されていないという現実がある。これを問題視することはタブーだ。お気楽で行こう。

### その4

基本的に宣伝活動はしない。お気楽になりませんか、と声は掛けない。ただ、お気楽になりたいな、という人が自然に集まるのが理想。戦略なんて、お気楽じゃないよね。



その5

研究所は階層型組織ではない。リゾームだ。なに、リゾームが分からない？興味があればググって欲しい。まあ、お気楽で行こう。

その6

お気楽は能天気ではない。自信と謙虚さがその持ち味だ。だから私も、いつか画期的な「お気楽論文」が書けると信じている。もっとも、構想はまだない。

その7

世の中は広い。中には私に会いたいという人がいるかもしれない。私もそういう人が入歯、いやいやいれば会いたいと思う。人生とは出会いだと思う。

その8

ストレスは大敵だが、ストレスがまったく無いというのもストレスだ。お気楽にもそれなりの緊張感はある。常に幸福では幸福は感じられない。お気楽はこのパラドクスを熟知している。

その9

お気楽はユーモアを忘れない。ユーモアこそが、人生を美味しく生きるコツだ。お気楽な人生は美味しい。美食は許されて当然だ。

その10

お気楽といっても、いろいろなタイプがある。お気楽にも多様性は大切だ。お気楽が一人いるだけで場は和む。そういう存在を目指したい。

自分って、何者？

壊れキャラの記録 | 12:18

2012年12月20日(木)

「自分って、何者？」

この問いに即答できますか？

多くの人達は、まずここを明確にしましょうと言います。しかし、安易な答はよくありません。かといって考え出すと答が出せなくなり、悩んでしまいますね。(悩まないか？)

告白すると、私はこの問いそのものに対して疑問を持っています。自分を固定させるメリットは以下の二つでしょう。

1. 相手にとって分かりやすいパーソナリティを持つ
2. 自分の中に指針ができ、判断が速くなる

しかし、無理をしてまでこの問いに答える必要は無いとも思うのです。人は日々変化します。効率は悪いかもしれませんが。分かりにくい人、難しい人というレッテルを貼られるかもしれませんが。それでも、何者なのかを定めない自分を受け入れる、というのはどうでしょうか。それはそれでしんどいかな？

こんな記事を以前も書きました。その時はわからなかったのですが、今はハッキリ言えます。私は「書く人」です。根っこも見えていますが、これは公言しません。私がどう見えようとも、私は私なのです。ただ見せ方をわかりやすくする。

見せ方だけでなく、自分の根っこ = 本質が見えていることも大事なんですね。

じゃあーまたー

## 魔法の言葉

壊れキャラの記録 | 11:55

### 魔法の言葉

2012年12月18日(火)

言葉にもブームがある。売るための言葉がある。

例えば、元気、感動、夢、成功、・・・。

こういう言葉は磁力を持っていて、引きつけられる人はすぐに飛びつく。私などは、そういう言葉に警戒心と嫌悪感を持っているので、拒絶してしまう。

マーケティングではターゲティングが重要だが、上にあげたような言葉は大多数の人が好むようだ。だから、売るためには使わなくてはならないらしい。もっとも私は売る物が無いので関係ないのだが。

それにしても、夢や成功というのは一時期、魔法の言葉だった。負け組たちは、夢や成功という言葉に騙されて、本を買い、セミナーに行き、そして失敗した。悲しいことだが、これは世の中の仕組みなので、変わることはないだろう。

しかし、魔法の言葉にも耐用年数がある。いま「成功」を口にすると痛い人と見做される空気がある。魔法はいつか解ける。だから魔法なのかもしれない。

そしてまた、マーケッターは新しい魔法の言葉を作る。魔法は使うためにある。間違っても魔法にかかってはいけない。もっとも、私のように流行が嫌いとなると厄介だ。それでも現代のマーケティングはコンピュータで属性を作り出す。

そうなのだ。いまや魔法の言葉を作るのもコンピュータなのだ。そのうち、コンピュータが書いた詩や小説が書店に並ぶかもしれない。うーん。読んでみたい。

2013-11-24

一番大切な質問

壊れキャラの記録 | 04:42

2012年12月25日(火)19時39分05秒

mixiの日記を見ていたら、サラリーマン時代の2005年に書いた面白いものが出て来た。

「あなたは人生という時間をどう過ごしたいのかな？」

この質問に、私の頭の中は一瞬白くなり軽い眩暈がした。こんなにも大事な問いを自分に対して行っていなかったことを恥じた。そして、現実の生活に対する不満が噴出した。

私は欲深い人間ではない。

気持ちよく思索に耽る時間と、欲しい本を買えるだけの金があり、毎日おいしい食事と酒があり、時にゲームをして楽しみ、時に芸術と自然に触れる。その程度で十分だ。

どういふ時間を過ごしたいか、という問いに答があったからと言って、そんな時間を過ごせるといふ保証はない。いや、現実といふのは過ごせないことの方が多いものだろう。こんな問いに敗北感を覚える必要はない。そうは思いながらも、この問いが何日も頭から離れない。

あなたは人生という時間をどう過ごしたいのか？

この問いに悪魔性を感じるのは私だけだろうか？

それとも皆さんは、この問いに明確な答えを持っておられるのだろうか？

こんな日記だった。

さあ、みなさんはこの問いに即答出来ますか？

## 好き好き光線の作り方

壊れキャラの記録 | 04:40

2012年12月21日(金)19時18分36秒

いくつになっても綺麗でキラキラしていて、歳を感じさせない魅力的な女性っていますよね。(ここで、え、私のこと？ と思った方、その通りです)そういう人って、みんなに「好き好き光線」を出していると思いませんか？

これって最強の武器ですよ。私なんかイチコロです。今日は好き好き光線の作り方について少し考えて見ます。

1. 共感できるところにフォーカスする。

2. 批判や否定は、奥にしまっておき、慎重に取り扱う。

3. 上下関係を作らず、常に対等な関係を築く。この三原則を守って、目や表情、仕草で「愛」を振りまくのです。女性を例にとりましたが、男性の場合もこれは応用できます。{え、お前、好き好き光線が出てないよ}ですって？

いや～、これは今気がついたところでして、明日から気をつけます。  
ハイ。

## 現代資本主義人格

壊れキャラの記録 | 04:35

2012年12月19日(水)12時33分31秒

いま好まれるパーソナリティーの特徴を挙げてみよう。

1. 自信満々
2. 柔軟
3. 仕事がはやい
4. エネルギッシュ
5. 社交的
6. 権威や権力に従順

大体こんなところだろう。

学校も企業も、こういうパーソナリティーを作ることに熱心だ。これは、パーソナリティーの規格化という圧力であったりする。

私が前に勤めていた会社でも「明るく、元気に」がモットーだった。小学生じゃあるまいし、と思われるかもしれないが本当の話だ。暗くて病弱な私には、このモットーは苦痛でしかなかった。入社した時は斜に構えた評論家が多い会社だったのだ。しかし、社長が代り、社風も変わったのだった。その影響で業績が良くなったとまで言われている。真偽はわからないが。

とにかく、こういうパーソナリティーは私にとって鬱陶しい存在だったりする。一番嫌いなタイプだと言っても良い。軽蔑を込めて「現代資本主義人格」と呼びたいのだが、私が好きだろうと嫌いだろうと、このパーソナリティーを目指す人が減ることはないだろう。

もっとも、リスクもある。性格には遺伝子が影響していることは明らかで、遺伝子に逆らって性格を変えようとする歪みが出る。最近の日本におけるうつ病の増加の原因かもしれない。

それでいながら、精神科医やカウンセラーは、この現代資本主義人格を規範とした治療を行う。そこでは薬も使われる。私に言わせれば、これは治療ではなく人格改造だ。背後には優生思想も見え隠れする。

今こそ、場末泡沫の思想を思い出そう。上昇志向など、おやめなさい。寿命を縮めるだけだ。それよりも自分らしさを愛することだ。お気楽で行こうではないか。

2013-11-26

2012年12月の頃

2012年 | 02:16

転落を覚悟し、引っ越しを画策したが、不動産やで衝撃を受けた。

2012年11月の頃

2012年 | 02:15

大人しかったが、深い闇の世界の中でもあった。

2012年10月の頃

2012年 | 02:14

アクティブだったようだ。

しかし、所謂ところの成果はなかったか？

2012年9月の頃

2012年 | 02:13

楽しかったようだ。

2013-11-27

お気楽革命

壊れキャラの記録 | 01:44

2012年11月14日(水)

人類の大きな変化  
自我という幻想を脱ぎ捨て  
社会というシステムを破棄する

お気楽に生きるとは何か

それは無思慮ではなく超越だ  
現実ではなく神秘だ  
安逸ではなく強さだ

戦いを放棄するのも、また戦いだ  
お気楽は強い意思だ  
お気楽は漲る自信だ

さあ、時は来た  
自我を超えた貴方は  
宇宙そのものだ

本性がいま  
大いなる帰還を果たそうとしている

怖れることはない  
死は、死ではない



飛びなさい

無限の空間に向かって

溢れる愛の泉の中へ

人類の未来は

貴方の中にある

2013-12-14

自己崩壊元年

壊れキャラの記録 | 04:44

自己崩壊元年

2012年12月30日(日)13時24分16秒

テーマ：負け犬ブログ

今年は私にとって、自己崩壊元年だったように思う。自己崩壊という  
と悪いことのようにだが、壊れるべきものはトコトン壊れた方が良いのだ  
ろう。ブログも、8月以降迷走して、今では「壊れキャラ時代」として  
残骸が展示されている。そして、ブログを読み返してみると、この壊れ  
キャラ時代が一番面白い。

最近では昔のエントリーを手直ししてきれいごとを書いているが、どう  
も芸風に斬新さが無い。怪しい人と言われても、私の好きな玄ちゃん  
(自分)は、あの壊れキャラ時代なのだ。

これは、勝ち犬と負け犬の戦いだ。つまり、私の中に世間の常識を重  
視する勝ち犬と、自分勝手にわがままな負け犬がいて、いつも戦ってい  
る。最近の、体裁の良いブログは勝ち犬ブログ、壊れキャラ時代は負け  
犬ブログというわけだ。

の喩えは、ゲシュタルト療法の創始者であるパールズのお気に入りだった。そして彼は、最後は負け犬が勝つのだと言った。しかし、勝ち犬も逆襲する。戦いは終わらない。パールズは、本当の自分の声を受け入れた時に戦いは終わるとも言った。

はっきり言って、勝ち犬ブログを書くのは疲れる。真面目な私は、嘘や浅薄なことは書けないからだ。批判や皮肉を柔らかく書くのは気が引ける。負け犬ブログは気晴らしにもなって、とても楽しい。

いっそう、勝ち犬ブログと負け犬ブログに分けて、両方書こうかな？

で、このブログの目的は？

ああ、また勝ち犬が吠えている。

>>【コメント】

1. アウウーッ！

勝ち犬負け犬に『区分』した時点で勝ち犬勝利じゃないの？

『お・か・た・い』だね。勝ち負けなんてつまらない。

いっそ、まじめに壊れよう！ で、まじめに楽しもう。野良もいっせ！

でもって、遠吠えを一発かまそう！ ご唱和ヨロシク！なんてね。

みちる 2012-12-30 15:08

2. Re: アウウーッ！

>みちるさん

勝ち犬の話の有難がる人もいる。

負け犬の話面白がる人もいる。

私は両方のファンが欲しいという欲張り者。

うーん。まだキャラ問題か・・・。(笑)

お気楽GENちゃん 2012-12-30 15:18

3. あのね

そんな風に、まじめに反省しないでよ～。

私は、蓼のGENちゃんがいい。食いつく虫はすくなくても、なかなかのお味ですよ。

だから、しばらくの間は、勝ち犬負け犬路線行ってみたら。

だめだよ。初っぱなからそんなじゃ。蓼だって美味になるカモよ。

みちる 2012-12-30 17:57

2013-12-20

・・・・の老荘

23:02

2013年01月18日(金)

テーマ：負け犬ブログ

現状に満足しようよ。

とどまる所を知れば危険がないじゃない。

水って奴は皆に利益を与えて、争わないよね。

大きな動きをしても自慢することなく、低きに位置する。

水のような生き方って、良いよね。

たまには街を出て自然を静かに楽しむのもいいね。

理屈じゃなく、素直な心で物事を受けとめるのさ。

目覚めた人というのは、人生もまた夢だと知っているんだな。

自己主張せず、自然に従って生きる。

それが道を心得た人なんだな。

才知があっても、ぼんやりさせる。

塵やゴミにまぎれて生きる。

これが達人の生き方だわな。

理想的な社会というのはだな、せかせかしてちゃいかんのだよ。

ゆっくりとしていて、キョロキョロ視線を動かさずに暮らせる社会がいいわな。

本当の「道」がなくなると、仁義や正義がもてはやされるのさ。

木彫りの鶏に敵意を持つ人はいないよね。

敵意のない人の周囲はいつも平穏なんだよ。

順調な時はもちろん、逆境も楽しもう。

2013-12-25

## 作業完了報告書

解説 | 06:17

日本時間の平成二十五師走二十五日、期日直前となりましたが、とある廃墟ブログの移転、撤収作業を完了しましたことを、ここに報告させていただきます。

作業責任者 白井京月 拝



壊れキャラ時代とその後 id:rk0520+EX1

発行者：株式会社はてな

京都府京都市中京区高宮町 206  
御池ビル 9F

<http://www.hatena.ne.jp/>

印刷：みつわ印刷株式会社

13122601rk0520+EX1